

令和元年度 東町目標に対する反省

① ふれあい・行事等を充実させ、利用者それぞれにとっての楽しみを見出す

- ・外出行事は行き先別の担当者を前もって決めていなかったため、計画を立てるタイミングと職員がいなかったことからできなかった。今後は担当者を決めて実行したい。クッキングも同様の理由で実行できていなかった。
- ・ふれあいという意味で毎日すべての職員がすべての利用者へ声掛けや会話ができるよう努力したい。
- ・家族面会時は寮母室スペースの解放やつつじルーム等の場所の提供はできている。
- ・誕生日会で家族の参加があるときは、静養室や仏間でお祝い膳を食べながら家族だけの時間を過ごして頂けている。
- ・長寿、つつじのユニット内で行えるラジオ体操や歌等を増やし、明るく活気のある雰囲気継続したい。

② 個人にあったケアを行う。

- ・毎日業務で動く中で個別機能訓練を実施する時間がとれず、個別に歩行器で歩く等の目標があるが、そのような介助、サービスを多くの利用者にしてあげたいができない現状がある。
- ・髪の手入れや衣服の汚れ、爪切り等の整容ができていないことが多い。
- ・体調不良時等に個別に合わせた食事の提供等、他職種連携や適切なケアができていない。